

令和4年12月9日

マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会 TEL:097-545-6594
FAX:097-554-4049

第141号

令和4年10月分交付金概算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和4年10月分の交付金概算払単価が公表されましたので、精算払いを行います。

また、10月分の公表された交付金単価は、肉専用種34,647.5円、交雑種4,468.7円、乳用種37,063.1円の交付となります。

詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和4年10月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

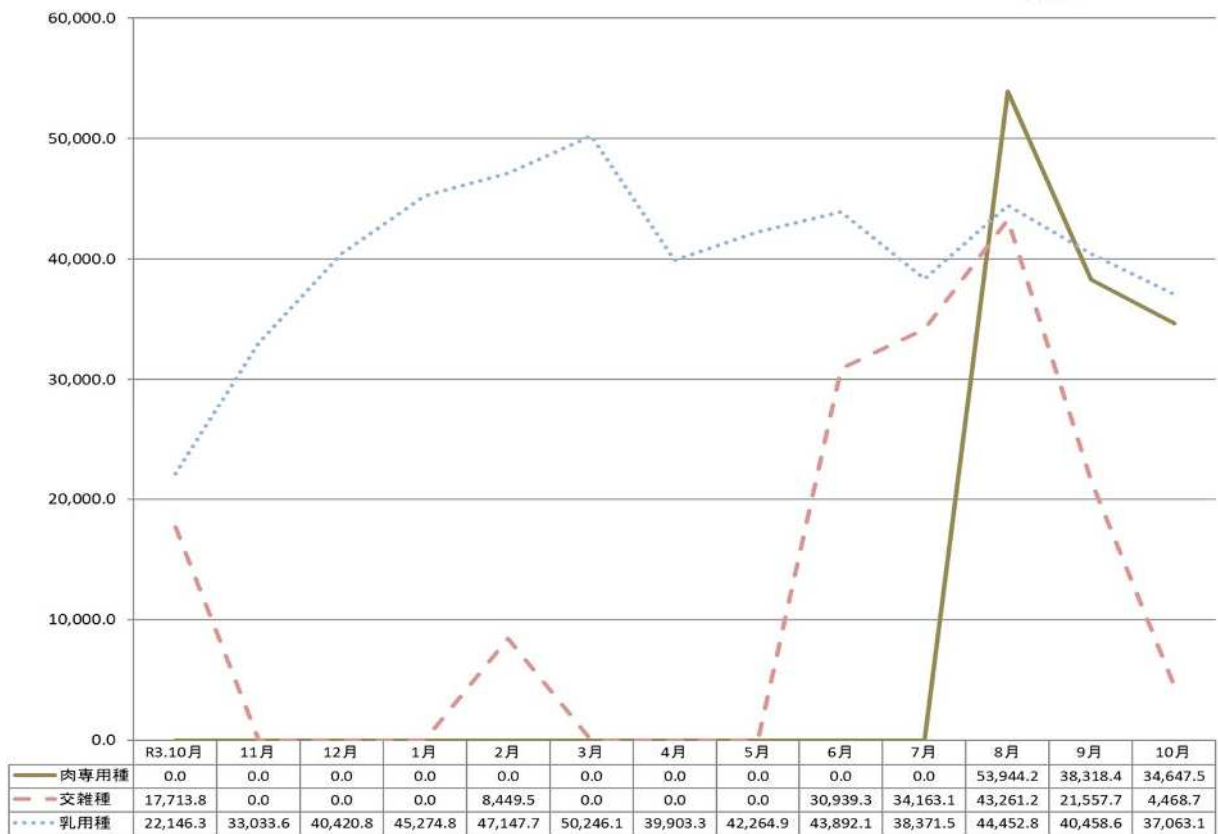
トピックス

●令和4年10月分の単価(概算払)が公表されました。

●10月分の交付金交付は、12月26日(月)を予定しております。

交付金発動状況

単位:円



牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oita.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html

補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

★畜産物の市況展望【牛肉】

11月の牛枝肉価格は、全国的に気温が下がり始めたことから鍋物商材が動き始めたが、上げては下げる煮え切らない展開が続いた。インバウンド需要が増えてきたが、コロナ前の水準には遠く及ばず、国内消費の冷え込みをカバーしきれていない。第8波到来も懸念され、クリスマスや年末年始を前に行動制限なく需要を維持できるか気になるところ。

10月の牛肉価格は、和牛は去勢A5が前月比93円高の2,679円（前年同月比39円安）、同A4は14円高の2,353円（同51円高）、同A3は89円高の2,134円（同9円安）、同A2は3円高の1,819円（同3円高）。全国旅行支援や入国制限の緩和によって観光地を中心に需要が活発化し上方修正されたが、「期待していたほどではなく、発注も長くは続かなかった」（業務卸）。

交雑牛もB4が17円高の1,704円（同5円安）、B3は15円高の1,530円（同6円高）、同B2は39円高の1,358円（同92円高）。3等級が弱く、2等級の強さが目立ったが、これは乳去勢のヒレがひっ迫していることで、交雑2等級に切り替える動きが出ているため。

感染者が大幅に減少し、全国旅行支援が開始されたことで人出が戻り、高齢者を含め外食する動きが増えた。ホテルレストランでは「入客がコロナ前に戻った」（ホテル関係）との声も。宴会も一気に動き始め、乳去勢、交雑のヒレに引き合いが集中、ひっ迫感はさらに強まった。ヒレだけでは調達が難しく、交雑ロースの需要も強まった。半面、ロイン以外の部位は弱くダブついた。

量販店等の売れ行きが低迷しているためで切り落としなど比較的に安価な商材も鈍かった。相次ぐ生活必需品の値上げ、円安などで消費者のメリハリ消費の傾向が顕著。流通各社は原料高の中、価格訴求よりも利益確保を優先する政策に切り替えている。今年のクリスマスは曆に恵まれていることから、ローストビーフ用やステーキなどは売り上げを伸ばせるか。和牛去勢A5で2,700～2,800円、A4で2,500円絡み、A3で2,200～2,300円。交雑種は去勢B3で1,550円前後、B2は1,300～1,350円。

（※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌11月号 抜粋）